

学校保健委員会を開催しました。

10月2日(木)本校会議室にて学校保健委員会を開催しました。
学校薬剤師の馳澤先生、近隣小学校の養護教諭、PTA役員の方々にご出席いただき、今年度の学校保健に関する計画や健康診断、新体カテストの結果等について協議しました。
また、臨床心理士の矢澤さとしスクールカウンセラーより、WISC検査について講演をしていただきました。概要を以下に掲載いたします。



WISC-V知能検査について

臨床心理士 矢澤 カウンセラーより

【WISC-V知能検査とは】

- ・『Wechsler Intelligence Scale for Children』の頭文字を取った検査。(Vは「第5版」)

【WISC-V知能検査をお勧めする例】

- 学力が低い、知識が定着しづらい、文章を書くのが苦手。
- 一斉指導で行動するのが苦手、指示理解が苦手。
- 抽象的な概念を理解することが苦手。
- 板書を写すことがゆっくり。
- コミュニケーションが苦手、感情のコントロールが難しい。
- 先の見通しを立てるのが苦手。



【WISC-V知能検査でわかること】

- ◎本人が苦手としている事や苦手な能力、それに対する本人・家族・支援者等の対処法。
～具体的にわかること～
 - ★その子に合った勉強のやり方。
 - ★その子に合った声掛け。
 - ★その子の苦手とする場面や作業、それらの対応方法。
 - ◎子ども本人も、本人用の結果説明を聞くことで自己理解が進む。
 - ★強みを知ることで自信に繋がる。
 - ★苦手を知ることで生活や学業でどんな工夫をしたらよいか分かる。
- ※数値で示されるためわかりやすい。



指導講評

学校薬剤師 馳澤 先生 より

【オーバードーズ (OD) について】

- オーバードーズ (OD) とは
医薬品を決められた量を超えてたくさん飲んでしまうこと。
→特に若者の間に広がっており、『高校生の約60人に1人』がODを経験したことあり。
最近では小・中学生の間でもODをする子が出てきている。
- なぜODをしてしまうのか？
→一般的に考えられがちな「快樂のための使用」というよりも、つらい気持ちを紛らわすために使用している実態がある。(居場所がない、自分に自信が持てない、孤独で寂しい…)
- もし、身近な人がODをしていたら…
→頭ごなしに怒らない。本人の気持ちに寄り添う。※支援者も一人で抱え込まない。

